各社が誇る、現場で活躍する社員

水を仕事にする魅力、やりがい

専門的知識の習得が可能

荏原実業
神奈川支社　主任
川上　颯太さん

■社会の基礎を支える事業

私はポンプ機器を主に扱う営業および施工管理を担当しており、荏原実業に入社してから今年で7年目になります。お客さまは地方公共団体の上下水道事業で、今は神奈川県内をメインに担当しています。

大学在学中は法学を専攻しており、就職活動に当たっては、社会の基礎を支え貢献できる仕事をしたいと考えていました。人生の岐路において大いに悩みましたが、「水」を軸としたインフラ事業を展開し社会貢献性が高く、また、面接を受けた際の会社の和やかな雰囲気も私の性格にマッチしていたため、荏原実業への入社を決意しました。

当社には、環境関連製品を製造・販売するメーカー事業と、上下水道設備工事を扱うエンジニアリング事業、ポンプをはじめとする風水力機器を民間企業向けに販売する商社事業の三つの事業領域がありますが、私はエンジニアリング事業を担う部門に配属され、現在に至っています。

■お客さまに寄り添う仕事を

当社のエンジニアリング事業では、営業担当者が工事等案件の受注から施工管理、アフターサービスまで一貫して関わります。一つひとつの案件に腰を据えて関わっていくことになりますので、お客さまに寄り添って丁寧に進めていくことを心掛けています。課題やご要望だけでなく、窓口として対応していただく客先ご担当者さまとの関係など、個々の案件が置かれた環境は千差万別です。

それらの要素を踏まえて最適な「答え」を出すためには、お客さまとの間のコミュニケーションだけではなく、部署内や他拠点のスタッフとの連携も重要になります。個人のマンパワーだけでなく、組織一丸となっておお客さまの課題を解決するという業務の「進め方」そのものが、私の仕事の醍醐味だと感じています。

当社の場合、1年目に先輩社員に教わりながら業務全体の流れを理解し、2年目以降に徐々に担当範囲を広げていくことになります。初めて一人で案件全体を担当し、工事が無事竣工したときは、大きなやりがいを感じました。

■学びの機会

営業だけでなく現場代理人として施工管理にも携わるため、専門的知識がなかった入社当初は不安もありましたが、先輩・上司の親身な指導、アドバイスの中で理解を深めていくことができました。

お客さまとのコミュニケーションは、学びの機会です。時にはその場で答えを出せないご質問をいただくこともありますが、社内で共有し、一丸となってそれに応えていこうという風通しのよい企業風土が当社の魅力です。その中でキャリアを積み重ねることで、社会に必要とされる人材に成長できていると感じています。キャリアアップの道程として、現在は監理技術者を目指して日々経験を積んでおります。業務に必要な学び、資格取得へのサポートが充実していることも当社の特徴です。

インターンシップや仕事体験など当社の業務を肌で感じられる機会も用意しています。ぜひ、たくさんの方のご参加をお待ちしています。

一人ひとりに合った働き方を

オリジナル設計
水インフラ本部　コンサルティング一部
エンジニアリング二課
大沢　篤郎さん

■専攻した水質分野で世の中のお役に

私は、工業系高校の在学中にインフラへの興味が湧き、土木系の学科に進みました。その時は、水の専門分野に携わろうとは特に決めてはいなかったのですが、大学の土木工学科では水質分野の研究室に所属しました。

3年生の時は福島にいたのですが、ちょうどその時に東日本大震災が起き、放射性物質等で水道の水質のことが話題になりました。これを受けて、水質の分野で誰かのお役に立てないかという思いを持つ中で、「生活環境の保全に貢献する」を標榜しており、水質を通じて社会貢献ができるオリジナル設計という会社を知り、志望しました。

■水道事業体のパートナーとしての誇り

現在私は、中小規模の水道事業体のお客さまを主に担当しています。中小規模の事業体では、給水人口の減少やそれに伴う給水収益の減少が進んでいます。こうした背景を踏まえ、施設の建設や維持管理にかかるコストをできるだけ抑えながら、一方で良い施設を設計することを心掛けています。

水道管路の耐震化は喫緊の課題となっていますが、中小規模の事業体では予算や職員数が非常に限られています。このため、地震等の災害が起きた際の被害をできるだけ抑える観点を持った管路の更新・耐震化についても提案しています。

また、数年単位で他部署との人事異動が行われている事業体も多くあります。初めて水道事業に携わる方に対して、私からその水道事業体の現状等をご説明することもあります。お客さまのパートナーとして感謝していただく機会が多いことは、私たち社員の支えにもなっています。

■形が残る水インフラの仕事

当社は、「人財こそが一番の資源」との考えのもと、ワークライフバランスを充実させるさまざまな制度を導入しており、私たち社員にとって働きやすい環境ができていると感じています。

今話題の「フリーアドレス」は、業界の他社に先駆けて当社が初めて採用しました。在宅勤務・オンラインワークも月10日まで取得でき、毎月「有給休暇取得奨励日」も設けられていて社員一人ひとりが自らに合った働き方を選ぶことができます。

教育制度も充実しています。当社には、土木・機械・電気などさまざまな分野のスペシャリストが在籍しており、そうした社員が講師となる専門研修も行っています。各種資格の取得の支援制度もあります。

また当社は長野県の八ケ岳をはじめとして、保養施設を数カ所所有しています。社内の親睦を深めるだけでなく、家族サービスの機会としても利用しています。

生活に密着した「水」のインフラに携わるとともに、自ら設計した浄水場や配水池などの構造物が形として残せることは仕事として大きなやりがいを感じています。

働きやすい環境が整っている当社を、志望先の一つに加えていただけましたら幸いです。

まちづくりを守る提案

極東技工コンサルタント
大阪本社　営業部
佐納　梨子さん

■興味から魅力発見

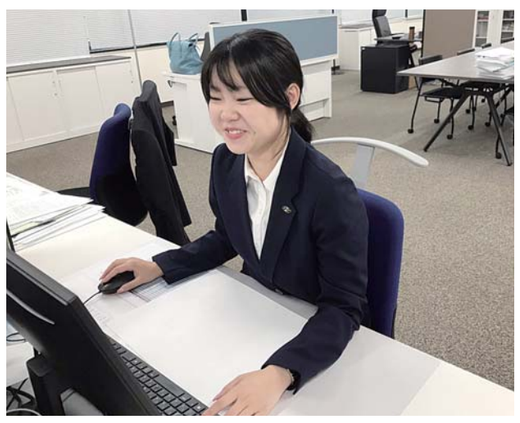
当社に入社して今年で3年目を迎えます。大学では農業経済学を専攻しており、農業が地域経済のまちづくりに与える影響を学んでいました。就職も農業関連を考えていたため、上下水道と接点が全くなかった私が仕事を知るきっかけになったのが「ドローン」でした。偶然、当社がドローンを使って万博記念公園内にある施設の老朽化確認に携わっている取組みを見つけ、農業で身近だった機械が水道施設の耐震・長寿命化などの調査目的で使用されている事例を知り、このつながりから興味を持ちました。分野が違っても、まちづくりに携われることが魅力であると同時に、会社説明会で話した社員の皆さんの人柄に接し、働きやすそうな会社の雰囲気を感じたため、入社を決めました。

■お客さまの目線で

現在は営業部に在籍し、大阪府南部と和歌山県を担当しています。もともと営業を志望していたので非常にやりがいを感じています。自治体へのヒアリング等を通じて抱えている課題を調べ、計画策定業務や不明水調査などを提案から受注につなげるのが主な仕事です。

入社後、半年経ってから一人での営業が始まりました。初めての提案では、上下水道の知識ゼロの状態からスタートしたので、お客さまの要望や専門的な用語の意味が瞬時に理解できず苦戦しました。納得して発注してもらうためにも内容を突き詰めることが大切だと思っています。だからこそ、少しずつ顔を覚えて貰えると嬉しいですし、担当したものが本当に発注業務として公表された時は、驚きが勝りましたね。

■安心できる職場

他部署と連携したコミュニケーションも重要ですが、先輩社員に分からないことを質問するたびに、仕事の手を止めて話を聞いてくれるので近い距離感で相談ができています。また仕事の進捗状況もこまめに気にしてくださるので、一人ひとりが抱えている状況に目を配り、安心して業務に専念しやすい独自の環境づくりを大切にしている会社だと思います。仕事のオンとオフを重視して制度を整備しているので、自分自身に合った形の働き方が実現できると思います。

当社には他分野を専門にしながら入社した人も多く在籍しています。私も最初は不安がありましたが、一生懸命な人を応援してくれる社風が働きやすさを実感させてくれる会社だと思います。